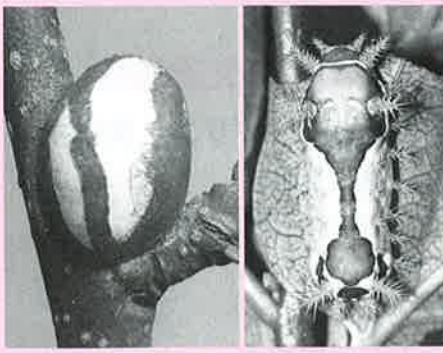


イラガの繭（マユ）

「チヨウ目・イラガ科」

葉の落ちた梅の梢を観察すると、鳥の卵に似た、独特の茶色の紋様が入り、貝殻のように硬い長径13mm内外の楕円体を発見することがあります。枝が二股に分かれている場所にしっかりと固定されています。これは、イラガと呼ばれます。これは、イラガと呼ばれる蛾の繭（マユ）です。◆一般的に繭は絹糸のようなタンパク質の糸によって構成されると考えがちですが、このイラガの繭の表面は幼虫の肛門から排出されるシユウ酸カ



イラガの繭と幼虫

ルシウムが主成分です。肛門から白濁した液体を排出して、このカプセルを数時間で作り返し、その内部で幼虫は、数日間をかけてゆっくりと口から糸を出して内部を補強します◆やがて冬が到来しますが、繭の中では幼虫はそのまま（前蛹）の状態です。翌年の初夏に蛹になりまします。このイラガの繭の中の終齢幼虫はタナゴ釣りの餌として利用され、玉虫の名で販売されています。釣り針の先に、終齢幼虫の内部の繊維質のような部分を絡めて餌にします。幼虫に刺されると極めて痛いイラガですが、繭の中の幼虫は刺す能力が消失しています◆なお、幼虫は年に2回発生し、サクラ、モミジ、カキなど、極めて多くの樹木の葉を食害します。触れると電気が走ったような痛みを生じるためにデンキムシの名称があります。対処法は水で洗い流し、虫さされ薬を塗布することですが、イラガ類はドクガ類と異なり、何もしなくても数日で症状は消えます。

（江村 薫）

おごせ アートミュージアム【越生中学校（美術部）】



モネ『ラ・ジャポネーズ』模写
- 広告紙を使って -



ゴッホ『星月夜』模写
- 広告紙を使って -



葛飾北斎『神奈川沖浪裏』模写
- 広告紙を使って -

現在、町立図書館の階段に展示中です。
お立ち寄りの際に、ぜひ観に来てください。

人口&世帯

11月1日現在
()は前月比

総人口：12,123人
(-18人)

男性：6,045人
(-4人)

女性：6,078人
(-14人)

世帯数：4,945世帯
(+3世帯)



あとかぎ&裏表紙
10月25日の武蔵おごせハイキング大会では、カメラ片手に16kmのコースを歩きました。参加者の中には小さなお子さんが多く、元気がいい。もちろん、たまたま声を掛け写真を撮りました。後半、一人で歩くのが寂しくなり、大高取山山頂からゴールまではヒッチハイクのように参加者に声を掛け、一緒に歩きながら撮影しました。一緒に歩いてくれたみなさん、ありがとうございました。1月の七福神めぐりのときに僕を見かけたら、みなさん声を掛けてください。腕章が目印たくさん撮ります！
今月の裏表紙は「八幡神社の獅子舞」。掲載に間に合わなかった東山神社の獅子舞は次号に掲載します。【チエ】